

『児童の頑張りをしっかり支えましょう』

2019年1月7日

広島地区ミニバスケットボール連盟  
副会長 大庭浩資

広島地区ミニバスケットボール連盟所属チームの保護者の皆様、また指導者の皆様、あけましておめでとうございます。

本年も、広島地区ミニバスケットボール連盟へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、以下の作文は、2018年12月30日の中国新聞「ヤングスポット」に掲載されたものです。

読んでいて、かつら川君が、一生懸命練習している姿や上手になって喜ぶ姿が目には浮かんできます。まだ3年生なのに、家でシュート練習を100本したり、バックチェンジに挑戦したりと、本当にバスケットボールが好きなのでしょう。

このように、地道に努力をしている児童はどのチームにもいることと思います。

我々大人はそういった児童の頑張りを見逃さず、しっかり支える保護者や指導者でありたいものです。

### 『バスケットいっばい練習』

広島市南区 小学生 かつら川りょう（8歳）

ぼくは、3年生になって、2年生の時よりバスケットボールがすごくうまくなりました。

なぜかという、いっばい練習したからです。

ぼくは、さいしょにシュートの練習をしました。遠い場所からシュートを100本うつ練習をくり返しました。

次にドリブルの練習をしました。せ中がわで、りょう手を交ごにを使ってボールをつく「バックチェンジ」などを練習しました。家でいっばい練習しました。

そうしていたら、ぼくよりじょうずだった人たちをいっきにぬけて、うまくなったような気がします。かた手だけでうったシュートが入ったり、ゴールを見ずにシュートが入ったりするようになりました。すごく強いチームとし合をして、ひきわけたりしました。

いっばい練習してよかったなあと思いました。もっと練習してもっとうまくなりたいです。